

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（600））
2. 日時：平成30年1月16日 18時25分～19時45分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室
4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

山口安全管理調査官、宮本管理官補佐、大塚安全審査官、角谷安全審査官、田尻安全審査官、津金安全審査官、日南川安全審査官、吉村安全審査官、千明技術研究調査官、穂藤保安規定係長、皆川保安規定係長、竹内技術参与、山浦技術参与

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 副室長 他15名

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電から、東海第二発電所の設置許可基準規則等への適合性のうち、廃棄物処理棟の耐震性等について、本日の提出資料に基づき説明があった。原子力規制庁から主に以下の点について指摘を行った。

○建屋の一部の外壁に強度を期待しないALCパネルを使用していることに対して、落下防止のための補強対策を行うのか、あるいは、落下した場合の影響評価を網羅的に実施するのか、事業者としての方針を早急に整理して提示すること。

○ALCパネルの落下防止のための補強対策について、物理的または技術的に対策できないところがあるのか確認して提示すること。

○ALCパネルを外壁として使用しているエリアで、竜巻飛来物の影響を考慮する必要がある設備を網羅的に確認して提示すること。

○ALCパネルの特徴及び材質を整理して提示すること。また、ALCパネルを当該箇所に使用している理由を整理して提示すること。

- (2) 日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・東海第二発電所 廃棄物処理棟の耐震性等に係る説明について